

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 10 日（金）19 時～	開催会場	平牧公民館
出席議員	川上文浩、勝野正規、林則夫、亀谷光、伊藤壽、川合敏己、可児慶志、板津博之、山根一男、田原理香、富田牧子、出口忠雄		
班長	板津博之		
参加者数	16 名		
実施内容	議会のトビラにより平成 28 年度決算審査報告及び意見交換会		
質疑および 主な意見等	<p><1グループ> 報告者 <u>亀谷光</u> 記録者 <u>林則夫</u></p> <p>テーマ「コミュニティセンター化について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どういうことかよくわからない。 ・ 利用者の審査はどうするのか。 ・ 稼働率を上げることも必要だが、現在やっている教室が支障を受けるようなことになってはダメ。 ・ 地区を優先してほしい。 ・ 運営の主体はどうなるのか。 <p>『総務企画委員会所管分』 「消防車庫の更新について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平牧消防団（4の2）車庫の土地探しに時間がかかりすぎる原因の一つとして、土地の取得費が少ないのではないか。また、土地の整備に費用がかかる。早くしてほしい。また、消防団員の確保に苦労している。入団する人が少ないので、8年も消防をやらなければならない状況だ。 <p>『建設市民委員会所管分』 「汚染土壌処理施設について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今月 16 日に説明があるが、以前環境課が説明した時には、協定について聞いていなかった。雨水プールが小さいので、久々利川に流れ込まないようにしてほしい。 <p>「新滝ヶ洞について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いまだ未解決で、定期的に水質検査を行っているが、水の出口で採取して検査してほしい。 <p>「観光事業について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大森、皿屋敷遺跡は見られるのは草刈りをした時だけ。あとは草ぼうぼうなので、史跡として見られるように整備をしてほしい。 <p>「団地の空き家・空き地について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 羽生が丘では魅力ある団地づくりに力を入れているが、空き家が増加して 		

いる。市としてもっと対策を出すべきだ

<2グループ> 報告者 伊藤壽 記録者 川合敏己

テーマ「コミュニティセンター化について

- ・地区センターの利用が多くなった場合、収益を上げた地区センターへのフィードバックを考えてはどうか。

『建設市民委員会所管分』

「荒川豊蔵資料館について」

- ・豊蔵資料館の県道からの入り口があまりに目立たなさ過ぎるので、目立つようにすべきである。

「自治会について」

- ・各自治会や連合会に助成金を増やして、地域住民の自治による活動が活発に行われるようにすべきではないか。

「市道 2211 号線について」

- ・緑ヶ丘から中部中学校へ行く南北の市道 2211 号線の工事は時間をかけ過ぎている。予算を多くつけて一気にやるべきではないか。地域住民は不便を感じている。

『教育福祉委員会所管分』

「学区の見直しについて」

- ・学区の見直しを考えるべきである。例えば東明小学校は1年生がひとクラスであり今後の先細りが心配である。また、平林地区が旭小学校区であり、星見台が桜ヶ丘小学校区である。そして桜ヶ丘小学校区では小学校、中学校に生徒の入れ替え等がないため義務教育期間はずっと決った同級生との生活となってしまう。

『その他』

「議会活動について」

- ・議会の行政視察報告は是非閲覧したい。

<3グループ> 報告者 板津博之 記録者 可児慶志

テーマ「コミュニティセンター化について

- ・コミセン化の理由が市民に伝わっていない。
市内の公民館数、利用者数、稼働率、経費負担額など将来見込みを含めて市民に明確に伝えること。
- ・公民館を利用していない者からすれば、利用率の高い体育館以外は民間に管理委託すればよい。
- ・退職間もなく地域のネットワークがない者は、インターネットで楽しみを探ることができるので、公民館の必要性をあまり感じない。

- ・公民館活動を従来の発想を打破し、世相にマッチした事業を行い、新規の利用者の拡大を図る。
- ・生演奏会など自由に参加できる催事。住み込み施設を併設し、新しい感覚を持った都会などからの転入者に、事業委託をする。
- ・最も現状を理解しているサークル活動で利用している方々から提案をしてもらう。

『総務企画委員会所管分』

「豪雨時の情報収集について」

- ・夜間であり、雨音で防災無線が聞こえない。
- ・団地住民は災害発生の可能性が低い認識により、豪雨に対する関心が低い。
- ・CTKの音声放送も寝室にいと聞こえない。
- ・「FMらら」の割り込み放送も、ラジオを聞いていないために効果は少ない。
- ・「すぐメール」や「エリアメール」は効果的ではあるが、高齢者などの携帯を持たない市民には役に立たない。

『建設市民委員会所管分』

『教育福祉委員会所管分』

「子育てプラザについて」

- ・少子化の時代に多額の費用を費やして建設する必要性が伝わっていない。
- ・子育て世代や駅周辺の市民でも何が建設されているか知らない人がいる。
- ・駅前の立地を活用して幅広い世代の利用ができるようにすること。
- ・中高生のみならず、20歳代以上の社会人や女子会・合同見合いなどの利用ができるように、マスコミ等でPRすること。
- ・アーラやKYBスタジアムのような対外的に誇れる施設になるよう努力されたい。

「高齢者対策について」

- ・定年退職者は地域とのつながりが少ない。地域に貢献できることがわかるような情報発信をされたい。(シニア世代の活用)
- ・健康寿命を延ばせば医療費の削減になるし、短時間労働でも収入があることにより消費拡大に結びつく。

<4グループ> 報告者 山根一男 記録者 田原理香

テーマ「コミュニティセンター化について」

- ・何故変えるのか、何がどう変わるのか、全くわからない。
～これまで以上に公民館を有効活用することが目的。
- 社会教育法を外し、条例にすることで、これまでの社会教育や生涯学習の場ばかりでなく、地域の施設としてまた地域の課題を解決する場ともなる

よう有効活用を図る。

～営利を目的とした使用や飲食を目的とした使用も可能となる。

他使用申請の受付期間の拡大、定期休刊日の廃止、使用料の変更、定期使用団体の登録、職員体制など説明。

- ・情報は伝わってこない、こんなことで、4月から移行できるのか。
- ・地域で決めると簡単にいうが、あまりにも地域差がある。誰が担うのか。
- ・地域の担い方を何でも、自治連や自治会としないほしい。公民館を活用している人たちで考えてもらえばいい。

～内容がわからないまま、「地区センター化」という言葉だけが伝わったことで、特に今現在地域を担ってみえる方々においては、どうしていったらいいのか不安を煽らせている。今一度「地区センターへの移行」について、しっかりとした情報を伝えることが大事。

『建設市民委員会所管分』

「文化芸術振興事業について」

- ・一般のものからすればなかなか使いようがない。もっと有効活用できるようにするべき。

平成 29 年 11 月 15 日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 平牧公民館会場 班長 板津博之